

これが我が社の「健康意識改革」

(株)ダスキン サーヴ北海道 編

虎の巻

この方にお話を
聞きました



(株)ダスキンサーヴ北海道
栄田 社長

KenCoM登録率は、各事業所が20～30%を推移する中

KenCoM登録率

ダントツのNo.1 51.5% (※) (株)ダスキンサーヴ北海道

2017秋「みんなで歩活」イベントでも、前回の春の時に比べて大幅な参加率アップ！
会社全体に健康意識が生まれ、健康生活が働きさんに根付くまでの
会社の取り組みの裏側と、これからの健康経営の在り方に迫ります！

※2018年2月8日現在



?

健康経営に取り組み始めたきっかけは？

自社の健康度把握の実績を見て愕然としました。

生活習慣病による重症化、合併症発症率、脂質異常ともにワースト1位…
喫煙率、高血圧、1人当たり医療費においてもワースト2位…
その他項目もほぼ最悪な結果を見て、「不健康度ナンバー1」の会社から
強い意志を持って脱却しないと経営リスクだと本気で思いました。

きっかけは
健康白書

?

**健康意識・健康習慣の改善のために、会社全体で取り組み始めたとお聞きしています。
最初に行ったことはどんなことですか。**



決め手は「情報共有」と「社内イベント化」で実行力を強化

サーヴ北海道の支店長会議等で、自社の働きさんの健康に関する現状（健康白書結果）
を報告し、まずは正働子さん、専任働きさんを対象に全員参加をめざし、健康増進の
社内イベントに関するプロジェクトを結成しキャンペーン企画を作成しました。





「みんなで歩活」のエントリーを周知・促進するために行ったことはありますか。それはどんなことですか。

チーム分け&
リーダーによる
参加促進

歩数計購入
補助支援金を
支給

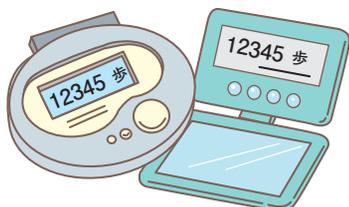
チーム全員の
実績ランキングを
毎日配信

社内ランク
1位チームには
報奨

対象者全員参加を目標とし、チーム分けを行いチームリーダーを指名。リーダーによる参加促進、歩数計購入補助支援金を支給し、意識付けを行いました。本店から全チーム全員の実績・ランキングを毎日配信し、社内ランク1位チームには報奨を設定しました。競争意識を持って参加することで、働きさんのコミュニケーションにもよい影響ができました。



「みんなで歩活」に参加前後で、働きさんの健康意識が変わったと思われることはありますか。それはどんなことですか。



イベント終了後も万歩計を携帯し、歩くことを意識するようになった働きさんや、歩くことだけでなく万歩計の機能として睡眠状態のチェックを行う働きさんが増え、生活習慣の変化を感じています。日々の生活習慣を再確認し、成行きではなく目標意識をもって行動を変えた働きさんがいたことは仕事にもつながると感じています。

ご自身が「みんなで歩活」に参加された感想をお願いいたします。

春の「みんなで歩活」に、本店で試験的に実施し、ゴールが北海道であるにもかかわらず目標であった日本縦断ができませんでした。秋はリベンジで北海道に上陸するという思いで参加しました。スマホの万歩計も正確性に欠くということを体験したので、万歩計を働きさんに持たせることを提案しました。



「みんなで歩活」以外の健康増進活動として、会社で取り組まれていることがあれば教えてください。



定期健康診断の参加促進!
再検査100%受診。
ノー残業の促進。
有休消化促進。



最後に、(株)ダスキナーヴ北海道の健康目標を教えてください。

精神的健康・社会的健康・身体的健康にバランスがとれた健康企業をめざします。

